

取締役会実効性評価結果について

当社は、2024 年度における取締役会の実効性に関する評価を実施しました。その結果の概要は以下の通りです。

【取締役会評価実施内容】

評価者	全取締役(13 名)
実施方法	対象者に対するアンケートとコーポレートガバナンス委員会による個別ヒアリング ※アンケートについては第三者機関への委託により実施。
質問内容	①取締役会の構成 ②取締役会の議題 ③取締役会の資料、④取締役会の運営、 ⑤取締役への情報提供、⑥取締役での議論、⑦取締役会のモニタリング機能、 ⑧取締役の相互評価、⑨その他
評価方法	・ アンケートの集計結果及びヒアリング内容をもとに、コーポレートガバナンス委員会が取 締役会へ実効性評価結果と実効性改善に向けた今後の方向性を提案。 ・ 取締役会において、評価結果のレビューと現状の課題を確認するとともに、実効性の更 なる向上に向けた取り組み等について議論し、今後の施策等について決議。

【評価結果の概要】

- ・ 前年度の実効性評価においては、取締役会のモニタリング機能が強化されてきたことに伴い、取締役会で議論すべきテーマの絞り込みと、年間で計画立てた議題設定を行うことが必要であると認識しました。
- ・ そこで、2024 年度は、中期計画初年度であることを踏まえ、特定のテーマで年間議題を設定し、オフライン会議にて議論の場をセッティングしました。結果として取り巻く事業環境や関連課題に関する理解が深まったとの意見が多くあり、昨年度に引き続き、取締役会のモニタリングボードとしての機能が高まっていると評価しております。
- ・ 取締役会の実効性は、これまでの実効性評価を踏まえ、継続的に改善されていると評価しており、2025 年度もこれらの取り組みを継続し、更なるブラッシュアップに努めてまいります。
- ・ 特に今年度は足元の外部環境を踏まえ、企業価値向上のために重要となるテーマに関して、継続的な議論が必要だと認識しており、2024 年度に新設した「サステナビリティ経営会議」や「オフライン会議」の場を継続活用してまいります。

【実効性向上に向けた今後の施策】

- ・ 中長期的な企業価値向上に向けた道筋の具体化について、年間で計画性のある議題設定を行い、議論を深めてまいります。
- ・ 取締役会の効率的な運営に向けて、運営改善に取り組んでまいります。

以上